

のんびり人生

No.75 令和3年8月
<http://www.ccc-21.co.jp/hcn/>



30周年記念



30周年のごあいさつ

たくさんの利用者様ご家族様に教えを頂き、地域の皆様に助けられて設立30周年を迎えることができました。心から御礼申し上げます。

介護老人保健施設は1989年に医療と福祉のサービスを併せもった、病院と在宅をつなぐ中間施設として誕生しました。その考え方に共感し、在宅復帰とリハビリテーションという柱を両輪にしたヘルシーケアなほりを1991年8月に開設しました。2000年には介護保険制度がスタートし、診療所・ヘルパーステーション・居宅支援事業所を併設して地域の中で包括的なケア体制に参画してきました。当初は50人前後だったスタッフが、法人全体で120名となり力強いチームをつくってきました。利用者様が住み慣れた地域で安心して生活できるように、チームでの取り組みを拡げています。また急激な高齢化の進むなか、安心な看取りを考える機会が増えました。ご本人やご家族が望まれる生き方を文字どおり最後まで一緒に考えるという役割も担っています。

いろいろな節目を迎えるごとに新たな挑戦をしてきました

が、折しも設立30年を前に、ノーリフトケア（持ち上げない、抱え上げない、引きずらない）の考え方を学び、法人全体で実践しています。利用者様にも働く職員にも身体に優しいケアの方法を学ぶことで、適切なリハビリやケアの方法を見直し、考えて実践することにつながっています。

私達は現在、予想もしなかった特別な状況下に暮らしています。新型コロナウイルス感染症がどれほどの影響を及ぼすのかは、後日歴史となって語られるでしょうが、仕事や日常生活の中にいろいろな規制を強いられ、明確ではない恐怖を感じながら過ごしています。そんな環境の中で、本当に大切にしたい事柄や人の生き方の目指すところなどを考え、たくさんの気づきができているように思います。

こんな時代にあるからこそ、皆様とともに知恵を出し、力を合わせて進んでいきたいと思えます。

ますますのご愛顧よろしくお願い申し上げます。

理事長
吉本 智子



30周年を迎えて

統括部長 吉本 尚正

『30周年記念号』という話を聞いた時、「ええっ、もう30年」という気持ちと「いまだ、30年か」という思いが胸の中で交錯しました。

30有余年前、自宅で施設長（今の理事長）と2人で話していて「やろうか・・・」の一言で走り出したこの施設の計画、当時はやる気だけはあったが、全くの経験不足で何度挫折の瀬戸際に立ったことか。何とか建物はできたが、如何運営していくか全くの五里霧中。試行錯誤を重ね「何とかここまで来た」という思いが湧き起こってきます。

誇らしいと思うより、ビリアードの球が当たって沢山の球が四方に広がっていくような感覚を強く感じて、沢山の人のよくここまで助けてもらえたという感謝の気持ちを圧倒的に強く感じます。

絶対に自分たち経営陣だけではできなかったことが、スタッフの関わり、御利用者・家族、関係業者様方、そして地域の皆さんのおかげで30年という短くて長い期間、波に揉まれながらも、沈没せず生き長らえてこられたとの思いで一杯です。

これからも波に翻弄され続けるでしょう。でも周りの人たちの『縁』がある限り、もがき続けていくと思います。ちょうど人の人生のように。



入所課 宇田 恵

現在入所課では、ノーリフトの取り組みを行っています。まだまだ福祉機器の使用 방법에慣れず悪戦苦闘の日々ですが、自分たち職員の身を守るとともに、利用者様の身体を^{いたわ}り寄り添う事を目標に、『うさぎとかめ』の絵本を日々想像しながら業務の忙しさに^{とら}われない、急がない介護に取り組んでいます。そして、時には利用者様の艶話を聞きうっとりする事も(笑)元気で明るいフロアーを目指し奮闘中です。

入所課の今後の課題は、利用者様の生活365日に携わる事での慣れや甘えで、人生の先輩に対し家族や友達のように接してしまうところ。しっかりと改善していきます。

嬉しいこともありました。食事の配膳車が温冷配膳車になり、温かい物を利用者様に提供できるようになったことです。「食べる事が楽しみ」と言って下さる利用者様もおられ嬉しく思います。今後は、このようなコロナ禍でも利用者様の楽しみが一つでも増える様スタッフ一丸となり努力していきます。





通所課 田邊 昌代

通所課は、現在11名の職員体制で東は室戸から、西は安芸までの送迎エリアで日々頑張っております。昔は、季節に応じて春にはお花見やイチゴ狩り、夏には釣り、秋には温泉やミカン狩り、冬は年末のお買い物等盛りだくさんの行事で利用者様と一緒に楽しい時間を過ごさせて頂きました。しかし近年、在宅生活の継続に向けて自立支援の充実化を図る為多職種共同で個々に応じた訓練メニューを実施しています。またリハビリ以外では、作業グループでの編み物・折り紙・削り絵・ナンプレ等選択して頂きコミュニケーションを図りながら参加できるグループも実施しており充実しています。職員11名様様々なスタッフで時には意見がぶつかる事もありますが、そこにはスタッフの利用者様に対する強い思いがあります。最後には皆で同じ方向を向いて取り組み、どんなに大変でも周りに目を向け声を掛けフォローできるそんな素敵なスタッフ達。そんな「ヘルシーケアなはり通所課」を今後共どうぞ宜しくお願い致します。



リハビリテーション課 橋村 真治

開設30周年を迎えることができまして、ご利用者、ご家族、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。開設以来リハビリ課で一番大きい出来事は、「介護保険」が始まったことでしょうか。今から21年前ヘルシーケアなはりが9年目の年です。それまで「介護は家族が行う」から高齢化社会を迎え「社会全体で支える」の理念で介護保険がスタートしました。それは行政が提供する福祉サービスから、市町村が必要性を判断し、「利用者自らが希望するサービス」を決定できる制度となりました。病院、通所系、入所系等それぞれでリハビリの違いや特色を出していくこととなりました。

リハビリテーション課職員は開設時2名、介護保険制度発足時5名から、現在は入所課・通所課・はまうづ医院にて合計10名体制で携わっています。皆様をご希望されるサービスがご期待に沿うよう、技術の向上や職員の増員等、ヘルシーケアなはりが地域の皆様に選んでいただけるよう頑張りたいと思います。



栄養課 福本 つや子

栄養課では「利用者様・仲間・自分を大切にする」を目標にしています。

利用者様の病状や状況に応じた栄養管理を行い、美味しい食事の提供はもちろん食事がどれくらい摂れているのか、食べられない時には原因は何なのかを考えています。食事を楽しみに待ってくださっている利用者様の期待に応えられるよう委託会社とも協力して安全で温かい食事を提供できるよう心がけています。

他にも、昨年は新型コロナウイルスのため中止となりましたが毎9月に行われるヘルシー祭りでは焼きそば・ちらし寿司・焼き鳥・ソフトクリーム・かき氷などの屋台を担当しています。また、100歳を迎えられた方々には手作りの特大ケーキを提供しています。

このように通常業務以外でも行事に参加し、利用者様やご家族様とのコミュニケーションに努めています。今後も利用者様のニーズに答え、満足して頂けるようにより一層努力していきます。





事務課 岡崎 昌毅



世界の誰もが初めて経験しているコロナ禍の中、ヘルシーケアなはりは創立30周年という節目を迎えます。今まで当たり前だった事が当たり前ではなくなっています。誰もが長い間の自粛生活において疲労している事と思います。手洗いうがいの習慣が身についたのはよかった事であると思いますが…。

事務の仕事といえば電球交換等の庶務関係から介護報酬の請求まで幅広く何でも行います。職員の皆さんがスムーズに働けるような環境を作るを念頭に、創立から30年在職の山中顧問を筆頭に今年入職の新人職員まで8名で日々奮闘しています。ヘルシーケアなはりの窓口として、利用者様やご家族様を笑顔で迎え入れ、心地よいと思ってもらえるような対応ができるよう心がけていきます。「笑顔で対応してくれていい気分やあ」とか「挨拶がなくて嫌な気分になった」など職員の励みや今後にも繋がりますので気軽に声をかけてもらえたら幸いです。

地域の皆様には30年間ヘルシーケアなはりをご厚意にして頂きありがとうございます。今後40年50年と変わらずに支えていただけますようよろしくお願い致します。



相談課 前田 真未

相談課は、皆さんに少しでも安心や心地よさを感じていただけるよう、笑顔を大切にしています。

この4月、介護保険の改訂がありました。老健はりハビリをして自宅へ帰るための施設となっています。国としても在宅復帰に向かえるように、少しでも長く慣れ親しんだご自宅での生活が継続できるように、と考えての見直しになっているのだと感じられました。

ヘルシーでも、新たな取り組みが開始される部分があります。相談課は4月から4人体制となります。4人で手を取り合い、今まで以上に利用者様ご家族様にとって良いサービスが提供できるよう、他部署や外部の事業所様との懸け橋になっていきたいと思ひます。

何かお気づきの点等がございましたら、遠慮なくお申し付けくだされば嬉しく思ひます。



のんのん保育所 鶴岡 かおり

かわいい笑顔とにぎやかな声が部屋中響き渡っているのんのん保育所。

笑いすぎてシワが増え、肩や腰が痛い時もあるけど、私たち職員は子どもたちからいっぱいパワーをもらって楽しく過ごし、年々若返っているような気がします。

シワや年に負けない！ 笑いいっぱい！

「元気」「やる気」「前むき」のハートを大切に、楽しく仕事ができるようにがんばります。

ふぁいと〜♡



洗濯 池田 節子

洗濯の部としては、入所者様に衣服を心地良く着ていただく様努力しています。これからもよろしくお祈いします。





ほがらかライフ 宮田 しのぶ



ほがらかライフでは現在17名の入居者様が生活をされていますが、これからも皆様が元気で、そして楽しく暮らしていける様な取り組みを続けていきたいです。



ヘルパーステーションさくら 安岡 涼子

私達の使命は、日々の在宅生活を継続させていくうえで、その方に必要な支援のお手伝いをさせて頂く事です。人それぞれに生活スタイルも考え方も違います。本当にその人が望んでいる事とは何か。在宅生活を継続していくうえで必要な事とは何か。本当にこれで良いのか。等、葛藤する事もあります。そのような事も含め、ヘルパー同士話し合いをしたり、こまめな報連相を行い、問題の解決に取り組んでいます。問題が解決した時や、利用者様・ご家族様からお褒めの言葉や感謝の言葉を頂いた時にはとても嬉しく、次への自信に繋がります。これからも沢山の壁にぶつかる事があると思いますが、皆で話し合い、協力し合いながら皆様のお役に立てるよう私達の使命を果たしていきたいと思っています。

「支援」とは、「本人が出来る様に、他人が力を貸して助ける事」。私達は力をお貸ししますが、最終的に達成させるのは本人の力です。



ケアプランナーハーネス 内川 涼一



現在ハーネスは3人体制で日々奮闘中です。ハーネスの歴代の先輩達とは違い、自分達は未熟で経験不足で、色々な方々に助けをもらいながら今の自分達があります。病院、薬局、事業所等、地域のたくさんの皆さんに迷惑をかけているにも関わらず、どれだけ優しく助けてもらったか分かりません。ただ、それでも自分達が未熟だったりしたせいでと悩まされる事も多いです。「少しでも元気に一人で暮らしたい」、もしくは「家族と一緒に自宅で暮らしたい」と思っている、願うようにはいかない事もあります。そんな時、利用者さんや家族さんに寄り添い、励まされ、助けてもらい、支えてもらってきました。

介護だけでなく、どこも【人がいない】といった声が聞こえてきます。自分達もその事は日々感じていますが、でもそんな中、自分達の枠を超えて協力をしてみんなで支えようと必死に頑張っているのも同時に強く感じています。決して誰かが無理をしいられるのではなく、出来る事をコツコツと行い、支える、支えられる側、一人ひとりを大切にしながら、少しでも力になれるように頑張りますので、今後とも未熟なハーネスを宜しくお願いします。



はまうづ医院 病棟 仲田 睦子

私事ですが開設当初2年半勤務し、その後5年間は他院で勤め平成11年から再度仁智会で勤務させて頂いております。開設当初は利用者様の介護度も軽くアットホーム的な雰囲気でした。現在は介護保険の導入や行政との様々なサービス内容も日々変わっており私達もまだまだ理解不足の事が多々あります。御家族様の介護に対する不安や希望に耳を傾け微力ながらサポート出来ればと思っています。どうぞ何でもお話を聞かせて下さい。利用者様が安楽な生活をおくることができ、御家族様も後悔のないように過ごせますことが一番と願っております。吉本施設長（院長）は生涯現役でまだまだ頑張ってもらえますか？利用者様、御家族様、職員一同頼りにしています。たまには息抜きもして下さい。





「濱宇津好子先生と智子先生」 医師 西岡 隆見



私が、はまうづ医院にアルバイト医師として初めてお世話になったのが、私26歳、今から33年前の事でした。好子先生には、以来大変お世話になりました。そして智子先生が老健施設開設に伴い関西から故郷へ戻られ、早や30年の歳月が流れました。

好子先生、智子先生、二代の先生方に、はまうづ医院の医師としてお仕えして来て、あと何年働けるのか判りませんが、健康に留意して働かせて頂きたいと思っております。

はまうづ医院 外来 山崎 君枝

介護老人保健施設としての開設に当たり、先輩方は、物品やお手本がない現場で、休みの日には他施設に研修に行き、試行錯誤の日々だったと言っておられたのを聞いております。それから30年という時を経て今では入所・通所はもちろんケアプランナーハーネス、ヘルパーステーションさくら、サービス付き高齢者住宅ほがらかライフ、のんのん保育所、はまうづ医院と仁智会は成長し、沢山の専門職の方々が働く場として活躍しています。

隣接のはまうづ医院も移転して21年目に入り、診療所に通っていた小学生も家庭を持ち、二世帯、三世帯と一家で来院してくれる方達も少なくありません。新生児から百五歳の自分で歩いて、自分の生活の話ができる独居高齢者までの年齢幅の方々が通ってきてくださっています。健診・予防接種・治療・リハビリ・往診と沢山の方々に携わらせていただいておりますが、診療所の治療では限られたものもあります。しかし、久々に来られる患者様の憩いの場であり、「おまん元気やったかよ。」と活気ある賑やかな待合室になる日もあり、私たちまでパワーを頂いています。

私たちは多くの方々が住み慣れた家で、地域で元気に暮らしていけるよう当法人のサービスを使っていただき、病気の治療をしながら、残された機能を使って元気で生活して頂きたいと思えます。

はまうづ医院は、患者様にとって大きな家族として、皆様のお役に立てる診療所として成長していきたいと思えます。

はまうづ医院 医事課 吉川 英里

はまうづ医院は田野町から現在の場所へ移り、ヘルシーケアなはりの併設となって、今年で21年目を迎えます。

外来・入院の患者様の中には、ヘルシーケアなはりを利用されている方も多く、医療法人としてたくさんの方々とお繋がっています。

今のヘルシーケアなはり、はまうづ医院が在るのは、長きにわたり地域の方々のお世話になり、育てていただいたからだと思います。これからもみなさまに親しまれ、必要としていただけるよう、私達職員一同頑張っていきたいと思っています。そして医事課はその「一番の窓口」で在りたいと思っています。





ウディークリーン 田中 資章

創立30周年おめでとうございます。

ヘルシーケアなはり様の施設を清掃させて頂くようになって24年私の代になって14年になります。お掃除の仕事も職員の皆様に育てて頂き少しずつ成長できていると感じ感謝しています。

私たちは仕事は人間の体に例えることができると考えています。体は多くの部分から成っていて各部分は他の必要を満たしています。どの部分も必要でないものはありません。例えば足の小指はとても小さいですが体全体のバランスを保つ上でとても重要だと言われています。それで私たちも自分に与えられた仕事を今日も一日ベストを尽くし頑張りたいと思っています。

一年を通して毎日仕事をさせて頂いていますが、職員の皆様の温かい笑顔が励みとなっていますのでこれからも宜しくお願い致します。



日清医療食品株式会社 ヘルシーケアなはり事業所 小原 喜美子

この度は創立30周年の記念すべき日をお迎えされましたこと、誠に喜ばしくこころよりお慶び申し上げます。

30年の長きにわたり、小さいお子様から高齢者まで、安心して頼れる、なくてはならない大きな存在となりましたことは、ひとえに貴院皆様のご尽力とたゆまぬご精進によるものと拝察いたします。

弊社も今年で創立50周年を迎える節目の年となります。皆様に安全安心で喜んで頂けるお食事を365日欠かすことなく提供し続けることが私どもの使命でございます。

これから私共は、季節を通じての行事や日々のお食事が皆様に「おいしいね」と笑顔になって頂き、日清医療食品のファンになって頂ける様に、厨房社員一同が一致団結して努めてまいります。

今後とも、医療法人仁智会様のさらなるご発展とご躍進をこころよりお祈り申し上げます。



新 人 紹 介

- ①今の仕事にやりがいを感じる時
- ②私の夢



総務課 川崎 功太郎

- ①これまでの経験を糧にして仕事をこなせた時
- ②海外旅行



リハビリ課 理学療法士 中野 稜太

- ①私は人と接する事が好きなので患者さんに必要とされリハビリの中で身体機能の変化が見られてありがとうと言われた時にやりがいを感じます。
- ②入職して分からない事ばかりですが、知識・技術をしっかりと身に付け、患者さんと関係性を築き信頼される理学療法士になれるよう頑張ります。



入所課 看護師 中屋 恵

- ①利用者様に「ありがとう」と言ってもらえた時
- ②世界三代滝を見に行きたい



ご長寿の皆さんはお元気です。



現在、ヘルシーケアなはりに入所、短期入所を利用されている方で、100歳以上の利用者様が4名いらっしゃいます。103歳の山本伊勢美様を始め、101歳の坂本峯様、ご夫婦で100歳を迎えられた武井賢様、千代壽様です。

皆さん、耳が遠かったり、目が見えにくくなっていたり、ウトウトする事が多くなっていますが、概ねお元気に過ごされています。

現在は、面会制限をせざるを得ない状況で、ご家族の皆様にはご心配をおかけしている事と思います。一日でも早く誰でも自由に面会出来る日が来て欲しいものです。



リハビリの一環



通所リハビリに通われている利用者様が7～8人集まって、黙々と作業に打ち込まれています。折り紙を折る方、手芸をされる方、数独問題を解かれる方など。ご自分の興味のある事を一日に2～3時間程されています。職員の「皆さん終わりの時間ですよ」の声が掛かっても、「もうちょっとだけ」とご自分のきりが良いところまで手を動かされています。続けて行かれる中で、デイでの時間を有効に使う事が出来、ハリが出来たとの事です。興味のある事がリハビリになるのは嬉しいですね。



続こんな所にツバメの巣



昨年、事務所の窓の傍にツバメが巣を作って子育てしている様子を紹介しましたが、今年も同じ巣にツバメが帰ってきました。

調べてみると、「ツバメは生きている限り前年と同じ巣に戻ってくる傾向がある」という説があるそうです。

日本が故郷のツバメの越冬地はマレー半島やフィリピン、台湾、オーストラリア等との事で、遠い国から帰って来て、巣を作り、子育てして、また海を渡って戻って行くんだなと感心します。

来年もまた帰って来て欲しいものです。





サンドイッチ

栄養士 福本 つや子



朝ごはんでも、お弁当にしてピクニックでも簡単にできます。見た目も楽しめるサンドイッチを作ってみませんか？



温かい飲み物 ローズヒップティー

※酸味のあるピンク色のお茶でやさしい香りがします。

ローズヒップはビタミンCの爆弾とも言われていて免疫力アップ、ストレス解消、美肌効果が期待できるそうです。

サンドイッチ

材料 280Kcal

- ・サンドイッチ用パン … 2枚
- ・マーガリン … 8g
- ・茹卵 … 1コ
- ・塩、こしょう
- ・マヨネーズ … 8g

材料 260Kcal

- ・サンドイッチ用パン … 2枚
- ・マーガリン … 8g
- ・胡瓜千切り (塩) … 1本
- ・ツナ缶 … 1コ
- ・マヨネーズ … 8g

材料 220Kcal

- ・サンドイッチ用パン … 2枚
 - ・マーガリン … 8g
 - ・ハム … 1枚
 - ・レタス … 1枚
 - ・マヨネーズ … 8g
- ※ロールパンにはさんでも美味しいですよ

オープンサンドイッチ

材料 340Kcal

- ・食パン … 1枚
- ・市販のホイップクリーム … 40g
- ・季節の果物 … 80g

作り方

食パンの耳をカットします (お好みでそのままでも大丈夫です)
果物を適当な大きさにカットします・
パンにホイップクリームをぬり果物をのせ、ホイップクリームを飾ると完成です
※ホイップクリームをもう一枚のパンに塗り果物をサンドするとフルーツサンドイッチができます

[コロナ禍自宅で出来る運動]

リハビリ課 北村 貴裕

なぜ加齢とともに筋力は低下するのか？

加齢とともに免疫細胞、脳細胞、髪の本数、歯の数などが減る一方なのに比べ、筋肉の構成単位である筋繊維の数は、基本的に生まれてから死ぬまで大きな変化はありません。それなのに年を取ると「筋力が落ちた」「衰えた」と感じます。その理由は、単純に毎日の活動量 (運動量) が減ってしまったから。使わないでいると筋繊維はどんどん細くなり、日常生活で使う程度だと脂肪もつきやすくなります。

転倒予防になる筋肉は？

まずはお尻の筋肉である臀筋です。臀筋には「大臀筋」とその奥にある「中臀筋」があり、どちらも骨盤を支えています。臀筋が低下すると、立ち上がる時や階段の上り下りで、バランスを崩して転びそうになります。またふくらはぎの奥にあるヒラメ筋が弱まると「必要以上に足を持ち上げる歩き方」になり、つまずきやすくなります。

- 1 毎日の筋トレは神経や脳、ダイエットにも有効
- 2 ゆっくりペースが効果大
- 3 ターゲットの筋肉に意識を集中させる
- 4 トレーニング前後には、ストレッチ
- 5 身体に痛みがあるときは、トレーニングを中止

体操 (大殿筋)

仰向けに寝て片足は床につけ、もう片足は膝を伸ばしてまっすぐ上げたまま、お尻を持ち上げて3秒キープします。これを3回、左右の足で行います。きつと感じたら、無理をしないで途中でやめましょう。



体操 (中殿筋)

仰向けに寝て、足は床につけて肩幅分くらいまで開くようにヒモで足を結びます。そのままいったん足を閉じてからヒモいっぱいまで足を開いて3秒キープ。これを5回繰り返します。こちらも辛いと感じるようなら、できる範囲でOK。無理をしないで。



体操 (ヒラメ筋)

ヒラメ筋のトレーニング立った姿勢で壁に両手をつき、大きくつま先立ちしてそのまま3秒キープしてかかとを下ろします。これを5回くらい繰り返しましょう。



ノーリフティングをみんなでやってみました

ノーリフトケア委員会 小松 雅代

施設で働く私たちにとって、利用者様の笑顔や、お元気になる姿を見ることは、大きなやりがいに繋がっています。しかし、無理な姿勢や抱え上げなければいけない介助が多いことも事実で、職員の腰痛など体調を崩すことが多いのが現状でした。

こうしたことから施設では、一年ほど前から、「ノーリフティングケア」に取り組んでいます。ノーリフティングケアとは、「持ち上げない」ことを主軸とし、腰痛予防の身体の使い方や、福祉機器を使用した介助方法を学び、介助者側の健康を守ることと、利用者様の安心感や苦痛の軽減、ご本人の力を使える環境をご提供し健康を守ること。と、介護する側される側、双方にとって優しい介助方法です。

今年度は国の事業に参加したことで、自分たちの行ってきたことの振り返りや、次のステップに進むための見直しが行えました。

施設にお越しの際は、ぜひ、「抱えない介護」を見ていただけたらと思います。

サラスティとは…

対面式の移乗機器です。ピボット式シートによりトイレの移乗に際して車いすに代わるものとして多目的にご使用できます。



ムーブボードとは…

スムーズに患者様を移乗することができ、介助者の負担を軽減することができます。



床走行リフトとは…

移乗介助を補助し、負担を軽減することができます。取付工事等が不要で、簡易に使用できます。



天井走行リフトとは…

走行用のレールを天井に固定し、電動または手動で昇降操作をするリフトのことです。レールを固定するに当たって工事が必要となります。



ほがらかライフ10周年

6月1日ほがらかライフは10周年を迎えました。
お赤飯と鯛のお刺身でお食事をし、その後記念撮影をしました。
撮影の後はケーキとコーヒーをご馳走になり、歌をうたったりと
皆様とお祝いをし楽しい時間を過ごしました。

これからも皆様が安心して暮らしていただける様に、スタッフ一同サポート
させていただきたいと思っています。

ほがらかライフ 宮田 しのぶ



ほがらかクリスマス会



ほがらかライフ 入交 矩子

12月20日ほがらかライフでは、理事長参加でクリスマス会をしました。
食堂をツリーやモールで飾り付け、テーブルもおしゃれにセッティングして、
厨房の方の心のこもったサンドイッチやスープなど、見た目も味もおいしく、
皆様いつもに増して笑顔いっぱいでした。ごちそうの後はクリスマスケーキ。
お腹いっぱいの後ですが甘い物は別腹。皆様おいしそうに召し上がられました。
その後は施設長からのプレゼント。シクラメンの鉢を「どれにしよう？」
「ピンクの!」「赤いの」「う〜ん白にピンクも変わっちゃう」といっぱい言わ
れながら選んで、楽しく賑やかなひとときを過ごしました。



門松づくり



ほがらかライフ 入交 矩子

12月28日門松づくり。大きな門松づくりに挑戦!
昔取った杵柄?これはあっちに、梅はもうちょっと切って、
うーん…。こっちあっちと皆様熱心に取り組み、それは
立派な門松のできあがり。外でわいわい言いながら自分達
で作った門松に大満足。記念写真もバッチリです。



消 防 訓 練

(初期消火)

初期消火で延焼を抑えるために、消火器と屋内消火散水栓の
使用方法の訓練を行いました。



お知らせ

オンライン面会

完全
予約制

利用者様と少しでもご面会していただくために、タブレットを使用したオンライン面会を開始しました。

一組ずつのご利用となりますので、あらかじめ予約をお願いいたします。

■ 予約方法

月曜日～金曜日(土日・祝日除く) 9時～16時

電話もしくは受付にて前日までに予約をお願いします。

 0887-38-5566 担当 前田・森口
医療法人 仁智会



はまうづ医院の新型コロナワクチン接種予約方法

- ・ 対象者は接種券と予診票をお持ちの方です。
- ・ 来院予約のみです。9:00から17:00(土日祝除く)
- ・ 問い合わせ先 ☎ 0887-38-2718 はまうづ医院まで



ヘルシー祭り開催中止のお知らせ

毎年開催しておりましたヘルシー祭りですが、昨年同様、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、誠に勝手ながら開催を中止させて頂くこととなりました。

ご参加を検討して頂いておりました皆様にはご迷惑をおかけすることとなり、大変申し訳ございません。来年こそは開催出来ますよう、職員一同願っております。

何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。



仁智会ではFacebookを利用しております。Facebookには、イベントの写真や利用者様とのお出かけの写真、研修会の写真などをタイムリーにUPしております。仁智会には年間を通じて、いろんな行事や研修があるので、ぜひ一度QRをよみとってFacebookをチェックしてみてください。



介護老人保健施設
ヘルシーケア **なほり**

TEL:0887-38-5566
FAX:0887-38-5564

はまうづ医院

TEL:0887-38-2718
FAX:0887-38-3721

居宅介護支援事業所
ケアプランナー **ハーネス**

TEL:0887-38-7845
FAX:0887-38-7007

ヘルパー
ステーション **さくら**

TEL:0887-38-8605
FAX:0887-38-7007

サービス付き高齢者向け住宅
ほがらかライフ

TEL:0887-38-8855
FAX:0887-38-7007

医療法人仁智会の理念

- ◆Clean 清潔な
- ◆Careful 大切に
- ◆Comfortable 心地よい
- ◆Communication 共感する

私たちは4つのCを大切にします。